

成果指標				
成果指標	参加延べ人数(利用者数)			
指標設定の考え方	各サロンに独自性を持たせ、地域間を越えた積極的な参加を図ることにより、参加者の増加に繋げ、高齢者の自立等を支援する。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	9000	9000	9000	0
実績	8935	7877	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	今年度は、開催回数、参加延べ人数とも前年度より減少したが、高齢者に他者との交流やふれあいの場を提供することにより、孤独感や閉じこもり生活の解消が図られている。また、サロンの運営に役立てていただく為、世話人の方の研修会を2回開催した。今後は、世話人であるボランティアの拡大を図りながら、事業を推進していきたい。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	高齢者が地域でいきいきと暮らすことができるよう、互いの交流を深めて生きがいをつくり、閉じこもりを予防することを目的とする事業である。運営の要となるボランティアの世話人を募り、研修会を開くなど事業内容の充実を図る必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題